

編集 後記

春の日差しがまぶしく感じられる季節となりました。政府が令和5年3月中旬以降のマスク着用は個人の判断を尊重することを発表しましたので、本号が届く4月には昨年度より日常で多くの笑顔を見ることができているのではないかと期待しています。

本号では特別論文1編、原著3編と資料1編を掲載しています。特別論文では精神障害にも対応した地域包括ケアシステムのより良い構築に向けてCOVID-19パンデミックの影響も考慮した上で課題を整理しています。その上で、長期入院精神障害者の地域社会への復帰と定着に向けて国からのトップダウン方式から現場が主体となるボトムアップの視点が必要であることを示しています。3編の原著と1編の資料のうち、2編は高齢者を、他2編は小児、あるいは保育所を対象とした研究です。高齢者を対象とした研究では、原著1編では「近隣の生鮮食料品店の増加と歩行時間の増加が関連していたことから、徒歩圏内の生鮮食料品店の増加によって、暮らしているだけで高齢者の歩行時間が増加する可能性」が示され、他、原著1編では「ヘルスリテラシー評価尺度であるHLS-Q12は一定の水準で信頼性と妥当性が認められたこと」が報告されています。小児や保育所を対象とした研究では、原著1編では「日本脳炎ワクチンの早期接種と標準的接種の児の中和抗体価について調べ、早期接種でも標準接種と同等の抗体価が得られること」が示され、資料1編では「保育所等において栄養士・管理栄養士の雇用有りは無しに比べ、栄養管理が良好であり、これらの傾向は公立よりも私立において顕著であったこと」が報告されています。いずれの論文も、研究仮説が明確であり、それぞれの専門分野の視点から論じられているため、私達に新しい知識を与えてくれます。

季節の移り変わりとともに街中での笑い声や交流が増えていくこと、新年度が皆様にとってより良い年度になることを祈るとともに、皆様からの新しい研究成果のご投稿をお待ちしております。 (大塚 礼)

次号予告 (第70巻・第5号)

原 著

都市部の妊婦における夫婦関係と産科履歴および身体的・心理社会的要因との関連：妊娠への適応の観点から……………川村恭子，他
都市部住民における塩味味覚閾値の規定要因に関する検討：神戸研究……………若子みな美，他

公衆衛生活動報告

通所型サービス事業所を拠点とした総合事業対象者向け介護サービスの担い手養成プログラム「サブスタッフ養成講座」……………伊藤久美子，他

資 料

保健所職員による精神科措置入院者への退院後支援の実態調査……………川内健三，他